

## 1 三人の家

2 生活が安定した記念にと、三人で沢山酒を飲み、理性がぶち壊れた結果3  
3 Pになだれ込む。

4 ヒロインとストラとクイノスの3人で酒を酌み交わしている。

5 ストラはキス魔に、クイノスは普段抑えてるぶん性豪になる。ヒロインは  
6 なんでも「いいよ」と言ってしまう。

7  
8 場所：三人の家

9 時刻：夜

10  
11 三人横並びでソファで酒を飲んでいる。

### 【3】

14 スト「(酔って) えーそれではあ。

15 この新天地で、無事に僕たち三人の家が！

16 この広くて、すごーくいい家が手に入り！

17 みんなも仕事が見つかって、お酒がめっちゃくちや美味しくて、

18 えーとそれから……とにかくかんぱーい！【一気飲み】

20 SE:グラス置く

22 スト「あー！ 美味しすぎる。樽で買えばよかった」

### 【7】

25 クイ「(一見普通) まったく、何度目の乾杯ですか。

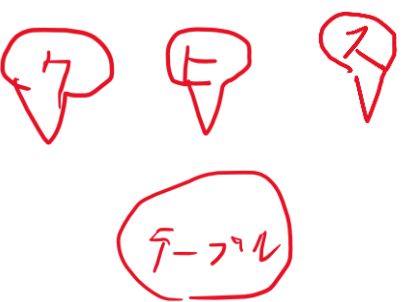
26 正体をなくすほど酔うなど、だらしないことですよ」

28 スト「ねえさーん！ 聞いた？ 先生が悪口言った。

29 キスしてなぐさめてえ」

31 【ヒロイン。酔っぱらっていて「いいよ」と笑っている】

33 SE:肯定の衣擦れ



1 【1】  
2 スト「いいの!?! わぁ! 姉さんとキス嬉しいな。  
3 口と口のやつね? ベロいれていいよね?」  
4

5 S E: 肯定の衣擦れ

6  
7 【ストラ、キスの吐息30秒程度】  
8

9 スト「んー……姉さんの口お酒の味。  
10 美味しいねえ。もっとキスしょ」  
11

12 【13】

13 クイ「こら、ストラ」  
14

15 クイノス、ヒロインを自分に引き寄せる。  
16

17 【1】

18 クイ「一人で楽しまないで、私にも味見させなさい。  
19 かまいませんよね? お嬢様」  
20

21 S E: 肯定の衣擦れ

22  
23 クイ「ほら、口を開けて。ああ、いい香りだ【キスになだれ込む】」  
24

25 【クイノス、深さ意識してディープキス30秒ほどください】  
26

27 【クイノスのキス終わりの十秒前くらいから】  
28

29 【11】

30 スト「ねー! ちょっと待って、何そのキスえっちすぎ。  
31 ほとんど本番じゃん!」  
32

33 【3】

34 スト「僕ももっとキスしたいからあ、耳にするね?  
35 姉さんの耳にべろちゅーしたらさあ、気持ちいいねえきつと」



1  
2 【ストラ、耳舐め1分ほどください クイノスと時間合わせないとの少し  
3 長めに意識していただけますと】  
4

5 【1】

6 クイ「ああ、そんな風にビクビク震えて、  
7 嬉しそうな顔をして。  
8 ストラに耳を舐められるのがそれほどこイですか？」  
9

10 【7】

11 クイ「【ひそひそ】お嬢様は、私が嫉妬深いことを  
12 ご存じでないのですね。  
13 嫉妬に狂った私が、何をしでかすかは？  
14 あるいは、ストラよりも強引やも」  
15

16 【クイノス耳舐め1分程度ください】  
17

18 【3】

19 スト「んー？ どしたの、もぞもぞして。  
20 耳舐められて気持ちよくなっちゃった？  
21 姉さんかわいいねえ。かわいい、かわいい。  
22 おっぱいも舐めてあげるね。  
23 ね、舐めてほしいよね？」  
24

25 S E:衣擦れ  
26

27 【1 下】

28 スト「ほらあ、乳首立ってる。たべちゃおーっと」  
29

30 【ストラ、1の下で乳首責めの舐め音】  
31

32 【7】

33 クイ「【含み笑い】ほら、またストラに気を取られて。  
34 ひどい人ですね、あなたは。  
35 あれほど私を愛していると言っておいて、  
36 簡単に別の男に与えられる快樂に身を任せて」

【7】

クイ「違うと言うなら、足を上げて、開いてごらんなさい」

SE…否定の衣擦れ

クイ「できませんか？　ではお手伝いしましょう」

クイノス、ヒロインの足をソファに上げさせる。

SE…衣擦れ

SE…ソファの軋み

クイ「スカートのなか、失礼しますよ」

SE…水音

クイ「おや？　この音は？

ぬるぬると濡れて、うるんで、物欲しげにヒクついて。

ここに、ストラに入れてほしいのでは？」

【1　ヒロインを見上げて】

スト「え？　入りたい！

見て見て、ウケるでしょ。僕のちんちんさつきから超元気なの。

姉さんがあ、かわいいこえで喘ぐからだよ。

“あん、だめえ、乳首やだあゝ。

指、奥にとどくのやだあ。先生、先生ゝ”って。

……あれ？　僕呼ばれてくない？

せんせえ！　姉さんが僕のこと呼んでくれてない！」

クイ「【軽く笑いつつ】お嬢様。いけませんよ、ストラを泣かせては。

おや？　それどころではないですか？

ああ、私の指でイキそうなんですわね」

1 【1 至近距離】

2 スト「えー？ イク顔見たい。見せて姉さん。

3 先生の指で行く顔みーせて。

4 まだイかない？ もうイきそう？

5 我慢してるの？ じゃ乳首いじめて手伝ってあげるね

6 ほらイっちゃえ、イっちゃえ」

8 【3 耳元】

9 クイ「ほら、ストラも応援してますから。

10 お嬢様の一番いいところ、指全部で愛撫してあげましょうね」

12 SE：激しめの衣擦れ

13 SE：ソファの軋み

15 スト「あは〜！ イったあ！

16 聞いた先生？ “イグウ” って、凄い声でた。

17 イキ顔かわいい。キスしちゃお」

19 【ストラ、ディープキスの吐息30秒ほど】

21 クイ「おっと。

22 お嬢様のここ、ストラのキスに反応してますね。

23 キスされながらの出し入れが好きですか？

24 こんな風に、激しくかき回されるのが？

25 私が指を動かすたびにイって、奥からどんどん溢れてくる。

26 ほら、この下品な音。

27 欲張りなお嬢様は、指だけでは物足りないようだ」

29 スト【キス終わり】ぶはっ……んー。ダメだもういれたい。

30 入りたいけどお……姉さんは先生の方が好きだからあ、

31 先生先でいいよお」

33 クイ【少し驚いて】ストラ……おお神よ。

34 幼子の成長に祝福をお与えください。

35 自分にとって何より大切なものを、

36 他人に譲れるようになるだなんて」

1 【1】  
2 スト「ごによごによ祈ってないではやくぅ！  
3 僕手伝ってあげる。3Pでえっちするやり方知ってるから」  
4

5 【1→6】  
6 スト「じゃあほら、先生の方向いてまたがって。  
7 足がばーって広げてね」  
8

9 【7】  
10 クイ「スカートはたくし上げて、前にまとめて。  
11 そう、上手ですよ。  
12 私のベルトを外すのを手伝ってくださいますか？」  
13

14 SE:ベルト外す

15 SE:紐をほどく

16  
17 【6】  
18 スト「あのねえ、騎士の奴らってみんなすごい変態でね、  
19 すごい本当に、乱交？ みたいな？ 僕やだったからさあ、  
20 見てただけなんだけどさあ。  
21 女の人みんな気持ちよさそうだったから、  
22 姉さんもちよー気持ちいいと思う。  
23 こうしてさ、後ろからおっぱい揉んでてあげるからさ」  
24

25 クイ「お嬢様、そのまま腰を落としてください。  
26 ゆっくりで大丈夫ですから。  
27 ゆっくり、ゆっくり……ああ、おっと」  
28

29 SE:奥まで突っ込む

30 SE:肉を打つ音1回

31  
32 クイ「失礼。うっかり奥まで入れてしまいました」  
33

34 スト「おー？ これはまたイってますなあ。  
35 姉さんめちやくちやくイくじゃん。えっちでかわいいー。  
36 【耳の後ろのあたりに何度かキス】



【6】

スト「僕もすぐに入れたくなっちゃった。

だからさ、お尻使わせて？ お酒で体ふにやふにやだし、  
えっちな汁でぬるぬるだから入れられそうだし。

いいよね、姉さん。いいよねえ？」

【7】

クイ「ほら、聞かれていますよ。お嬢様。  
いいと言ってあげないと」

SE:肯定の衣擦れ

スト「やったあ！ 姉さんも先生も大好き！」

SE:ベルト外す

SE:紐ほどく

SE:ズボンおろす

スト「先生のが入ってるからちよつとキツいかも。  
がまんしてねえ？」

SE:触れる水音

SE:挿入ゆっくりめ

スト「あ、ああ待つて凄い……！

キツい、けどお……入ってく。

ねえ待つて凄い気持ちいいこれ。

全部入っちゃう、入っちゃう……！」

クイ「ああ、お嬢様。動いてもいないのに、こんなに

キツく締め付けて。

泣くほど気持ちいいんですか？ 声も出せないほど？」

1 【6】

2 スト「根元まで入っちゃった。

3 動いていい？ ね、動くね？ 動くからね」

4  
5 【ストラ、ゆっくりめのピストンしながら、吐息交じりで次のセリフお願  
6 いします】

7 ※クイノスはまだ動かない。

8  
9 SE::水音

10 SE::肉を打つ音

11 SE::ソファギシギシ

12  
13 スト「ああ、凄い。わかる？ 奥にはいつてえ、抜いてえ。

14 入って、抜いて……姉さんのお腹触ると、

15 僕が入れるたびに先生のがぐーって押し付けられて、

16 お腹膨らんでるの。

17 あは、面白いねえ。姉さんこれ気持ちいい？

18 僕はねえ、凄いきもちいいよ。めっちゃ気持ちいい」

19  
20 【ストラ、吐息のみ10秒ほど（クイノスのセリフにかぶせます）】

21 【7】

22 クイ「ああ、だいぶ馴染んできましたね。

23 ストラが動くたびにイって、締め付けて……

24 もう、痛みなんて少しも感じないでしょう。

25 これなら、私も動いても大丈夫そうですね」

26  
27  
28 クイノス、ヒロインの腰つかんで下から突き上げる。

29  
30 SE::水音（ストラの水音と別質の音で）

31 SE::肉を打つ音

32  
33 【クイノス、吐息のみ1分ほどください】

34  
35 スト「うわ！ ああ待って！ 先生動くと僕もヤバいつて！  
36 あゝごめん姉さん。ごめんね、ごめんなさい」



1  
2 【ストラ、ガン突きの吐息1分ほど】

3  
4 【6】  
5 スト「うう、締まる……！　すごいきつくて」

6  
7 【7】  
8 クイ「ええ、私も、そろそろ……！」

9  
10 【ストラ、クイノス、終わりに向かう吐息30秒程度　ストラはセリフ  
11 で、クイノスは吐息のみでフィニッシュさせてください】

12  
13 スト「ダメダメもういく！　いつちやう、いつちやう……！  
14 姉さん、姉さん……！　【フィニッシュ】」

15  
16 S E : 射精音

17  
18 クイ「【呼吸整えつつ】お嬢様、お嬢様？　大丈夫ですか？」

19  
20 S E : 肯定の衣擦れ

21  
22 スト「あれえ？　出したのに萎えない。  
23 全然まだ出したい」

24  
25 クイ「若さとは恐ろしいものですね」

26  
27 スト「先生のも全然まだ硬くない？  
28 姉さんのお腹の中パンパンだけど」

29  
30 クイ「ええ、ああ……そうですね。  
31 これも魔女の悪戯か」

32  
33 【7　耳元】  
34 クイ「そういうことですの、お嬢様」  
35

1  
2 【3 耳元】  
3 スト「ベッドで続き、しよ♡」  
4  
5  
6 間  
7 S E 朝チュン  
8 S E 衣擦れ  
9  
10 【7 隣に寝る距離】  
11 スト「あつたまいった……いや無理。何？　すごい具合悪い」  
12  
13 【11 隣に寝る距離】  
14 クイ「何も覚えていない。瓶を三本開けたあたりから記憶が……  
15 お嬢様、私たちに一体何が？」  
16  
17 【ヒロイン「何もわからない」】  
18  
19 スト「だよねえ？　姉さんも覚えてないよねえ？  
20 でも……僕たち全裸だねえ！」  
21  
22 クイ「それに腰が……冗談ではなく、真剣に腰が痛い」  
23  
24 スト「……やった？　これ僕らやったね？  
25 酒の勢いでやってるよね？」  
26  
27 クイ「ああ……神よ愚かな我々を許したまえ」  
28  
29 スト「お酒……しばらくやめよつか」  
30  
31 クイ「是非に及ばず」  
32  
33

終わり